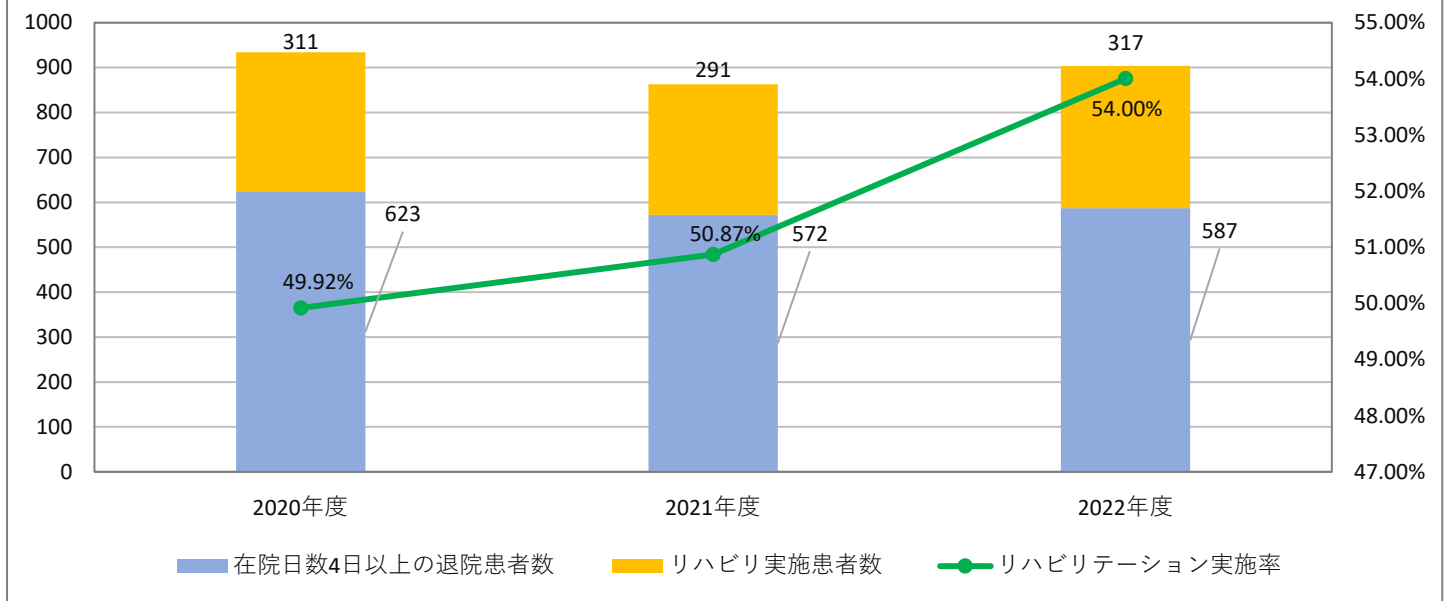


## 入院患者におけるリハビリテーション実施率



入院、発症、術後早期よりリハビリテーションが実施されることで患者の早期離床、機能回復、合併症の予防などの効果は多大であり、その必要性は高い。2020年の全日本民主医療機関連合会の集計では中央値は59.13%であった。当院のリハビリ実施率は2022年度は54.0%で、積極的にリハビリテーションを実施し患者さんのADL向上を図っている。

データ提供 事務部医事課